

2019年5月30日

各位

イーレックス株式会社
九電みらいエナジー株式会社
トーヨーカネツ株式会社
沖縄ガス株式会社
株式会社九電工
東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

沖縄県内最大となる木質バイオマス発電所
「沖縄うるまニューエナジー株式会社・中城バイオマス発電所」
起工式挙行のお知らせ

イーレックス株式会社、九電みらいエナジー株式会社、トーヨーカネツ株式会社、沖縄ガス株式会社、株式会社九電工、東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社、および沖縄県内地元企業等の合計11社の共同出資により、2017年7月設立した「沖縄うるまニューエナジー株式会社」（以下「共同出資会社」）は、本日、中城バイオマス発電所（沖縄県うるま市中城湾港新港地区工業団地内）の建設予定地において、木質バイオマス専焼の発電所として沖縄県最大となる「中城バイオマス発電所」（以下「本バイオマス事業」）の起工式を挙行いたしました。

起工式の様子



起工式には共同出資会社の代表者加え、本発電事業の関係者など総勢約120名が出席し、工事の安全を祈願いたしました。起工式では出資会社を代表して沖縄うるまニューエナジー株式会社代表取締役社長の本名 均は「本プロジェクトは、沖縄に貢献できる発電所を建設したいという思いで始めたものであり、多くの沖縄企業の皆様にご理解を頂き出資をしていただく事ができました。皆様の応援があつて初めて成り立っております。それ故に、本発電所は、沖縄に関わる全ての方の発電所であり、沖縄のエネルギー改革の一助になればよいと考えております。また、沖縄も、低炭素、脱炭素社会実現に向けた取組が行われていくと思いますが、本発電所を軸にゼロエミッション電力を発信する企業として、沖縄に貢献していきたいと考えております。今後引き続き、皆様への感謝の気持ちを忘れず、本プロジェクトを無事に成功させてまいります。」と述べました。

本バイオマス発電事業は、2021年7月末の運転開始に向け、イーレックス、九電みらいエナジー、東京ガスエンジニアリングソリューションズおよびトーヨーカネツが発電所運営を行い、九電工は発電所の電気設備工事を担当するなど知見を組み合わせることで、各社の強みを活かした安定的な事業運営を行ってまいります。

共同出資会社一同は、本事業を安全かつ安定的に推進するとともに、国内における再生可能エネルギーを活用した事業を積極的に推進することで、地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献してまいります。

(参考 1) 会社概要

項目	内容
会社名	沖縄うるまニューエナジー株式会社
本社所在地	沖縄県うるま市州崎 12 番地 94
設立日	2017 年 7 月 1 日
代表者	代表取締役社長 本名 均
出資会社および出資比率	イーレックス株式会社 (44.8%) 九電みらいエナジー株式会社 (20.0%) トーヨーカネツ株式会社 (10.0%) 沖縄ガス株式会社 (6.8%) 株式会社九電工 (4.5%) 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社 (2.7%) 地元企業等 5 社 (11.2%)

(参考 2) 発電所概要

項目	内容
発電所名	中城バイオマス発電所
発電所所在地	沖縄県うるま市中城湾港新港地区工業団地内
定格出力	49,000 kW
年間発電量	約 350,000 MWh (一般家庭約 11 万世帯分の年間消費電力に相当 ^{※1})
CO ₂ 削減効果	約 270,200 t-CO ₂ /年 (推定) ^{※2}
燃料使用量	パーム椰子殻 (PKS)、木質ペレット 約 20~25 万 t/年
営業運転開始 (予定)	2021 年 7 月末

※1 1 世帯当り 247.8kWh/月 (平成 27 年度) で算出。出典：電気事業連合会「電力事情について」

※2 沖縄電力(株)の CO₂ 排出係数「0.772kg-CO₂ / kWh」(平成 29 年度) を使用

(参考 3) 完成予想図



(参考 4) 建設地



■ 問合せ先

イーレックス株式会社

九電みらいエナジー株式会社

トーヨーカネツ株式会社

沖縄ガス株式会社

株式会社九電工

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

IR広報室

企画本部事業開発担当

経営企画部

電力事業課

総務部 総務課(広報)

経営管理部 広報G

電話：03-3243-1167

電話：092-980-5597

電話：03-5857-3333

電話：098-863-7868

電話：092-523-1691

電話：03-6452-8407

以上